

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

第1回「箕面体験学習の森」整備事業検討委員会を開催

9月11日(火)、多様性豊かな里山の再生と生物多様性の向上を目的とした「箕面体験学習の森」の設定に向け、有識者、教育関係者、地域住民等で構成される検討委員会を新たに設置し、その第1回委員会を箕面国有林において開催しました。

座長に兵庫県立大学の服部保教授を選出した後、委員全員で、「箕面体験学習の森」として設定を予定している箇所を視察し、検討を行った結果、「対象者を明確にした上で、箕面らしい森林の目標設定をすべき」、「全体を通したテーマ・ストーリーが必要と思う」、「森づくりを行った後の管理体制はどうするのか」、「整備計画とソフトをセットにすることが必要」などの意見や質問が出ました。

今後は、意見等を踏まえ作業部会及び委員会において検討を行い、整備方針案を作成することとなりました。

森林環境教育プログラム(高校生以上を対象)作成のための
モデルプログラム実践!(京都市京北地域)

平成17年度に設置の森林環境教育プログラム等検討委員会では、今年度は、高校生以上を対象とした森林環境教育プログラム作りを進めており、9月18日から21日までの4日間、京都市の京北地域において、プログラムの実践を行いました。

森林と人とのかわりに視点を置いて、21名の大学生を4つのチーム(①暮らし、②産業、③自然、④グリーン・ツーリズム)にわけ、①10代から90代の住民の方々、②製材工場、銘木生産協同組合や工務店などの方々、③伏条台杉群生地や里山づくりなどに関わっているの方々、④森林公園、宇津峡公園などの方々に、インタビューを通じて、地域のことを見て・感じて・考えていただきました。その後、チーム毎に取りまとめのうえ発表を行い、参加者全員でそれぞれ感じたことや意見を述べて4日間をふりかえり実践を終えました。

今後は、今回の実践内容を中心として、森林環境教育プログラムを取りまとめていくこととしています。

ヒノキ林で間伐を体験!
～第3回森林ボランティア養成スクール～

9月30日(日)、第3回目の森林ボランティア養成スクールを、小雨の中、箕面国有林で行いました。

今回は間伐作業が中心で、最初に間伐の目的及び安全上の留意事項を説明し、間伐のデモンストレーションを行いました。

その後、2チームにわかれて、間伐木の選木から伐倒、枝払い、玉切りまでの作業を行いました。

参加者からは、「木を伐るのがこんなに大変とは思わなかった」、「ヒノキがこんなに良い匂いとは知らなかった」などの感想が聞かれました。

次回(10月)は、里山林とその活用について見学する予定です。



林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

TEL:075-414-9049/FAX:075-414-9029

URL:<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>

〒602-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F

